

J - A L E R T と連携する情報伝達手段の 多重化推進の**コスモマスター**のご提案

現在、豪雨などの災害が多発している中で、J-ALE RT受信機の性能と機能を引き上げる必要があることから、消防庁としては、**補助金を配布**して既存の受信機から新型受信機に変更を促しています。

さらにJ-ALE RT伝達経路の多重化を推進しています。

J-ALE RT緊急通報の音声を自治体の**防災無線を通さず**に住民所有のスマホに直接伝達する事が出来る提案です。（多重化）



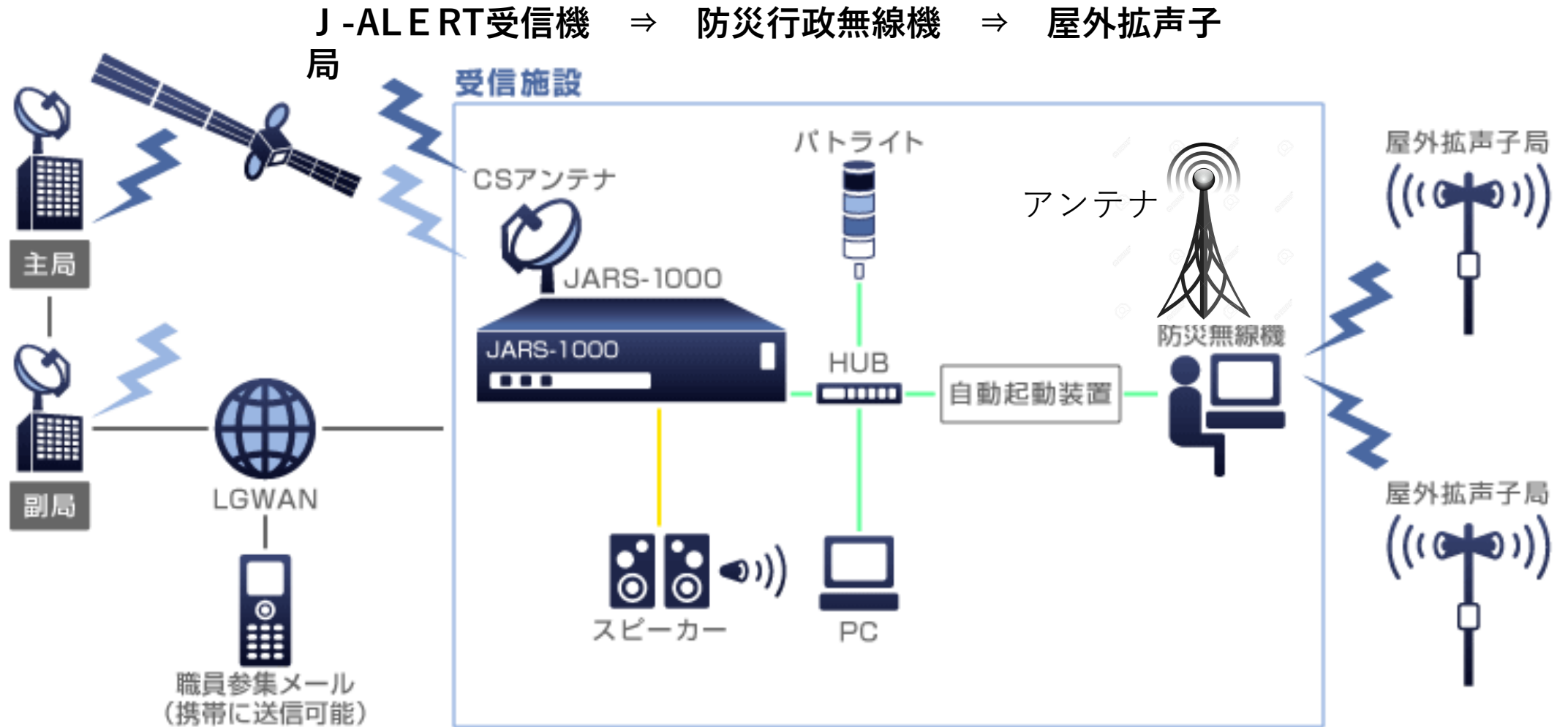
J-ALERTと連携する情報伝達手段の多重化推進

総務省ホームページより抜粋

基本的なアプローチ

1. 多数の住民に一斉に情報伝達ができる市町村防災行政無線（同報系屋外スピーカー）又は同等の機能を有するその他の無線の導入・連携を検討する。
2. 屋外スピーカーだけでは屋内において放送が聞こえにくい場合があるため、戸別受信機等屋内向け情報伝達手段の導入・連携を検討する。
3. 地形等の観点から市町村防災行政無線等の導入が適さない場合は、他のプッシュ型伝達手段の導入・連携を検討する。
4. 音声による情報伝達手段に加えて、スマートフォン等を利用した文字による情報伝達手段の導入・連携も検討する。
5. 公共施設や学校において館内・校内に設置されている放送設備を自動起動できるよう検討する。

現在の J - A L E R T の仕組み



熊本地震では、市庁舎が押し潰されアンテナが倒れ、防災放送が出来なかった自治体がありました。現在、国ではJ-ALE RTの通達経路の多重化を推進されています。

ご提案の J -ALERT の仕組み

J-ALERT受信機の緊急通報を音声で、弊社製造の『簡易親局』を通して直接、住民所有のスマホに安価に伝達する事が出来ます。（多重化）



新型 J - A L E R T 受信機



新型 J - A L E R T 受信機



J - A L E R T システム概要

